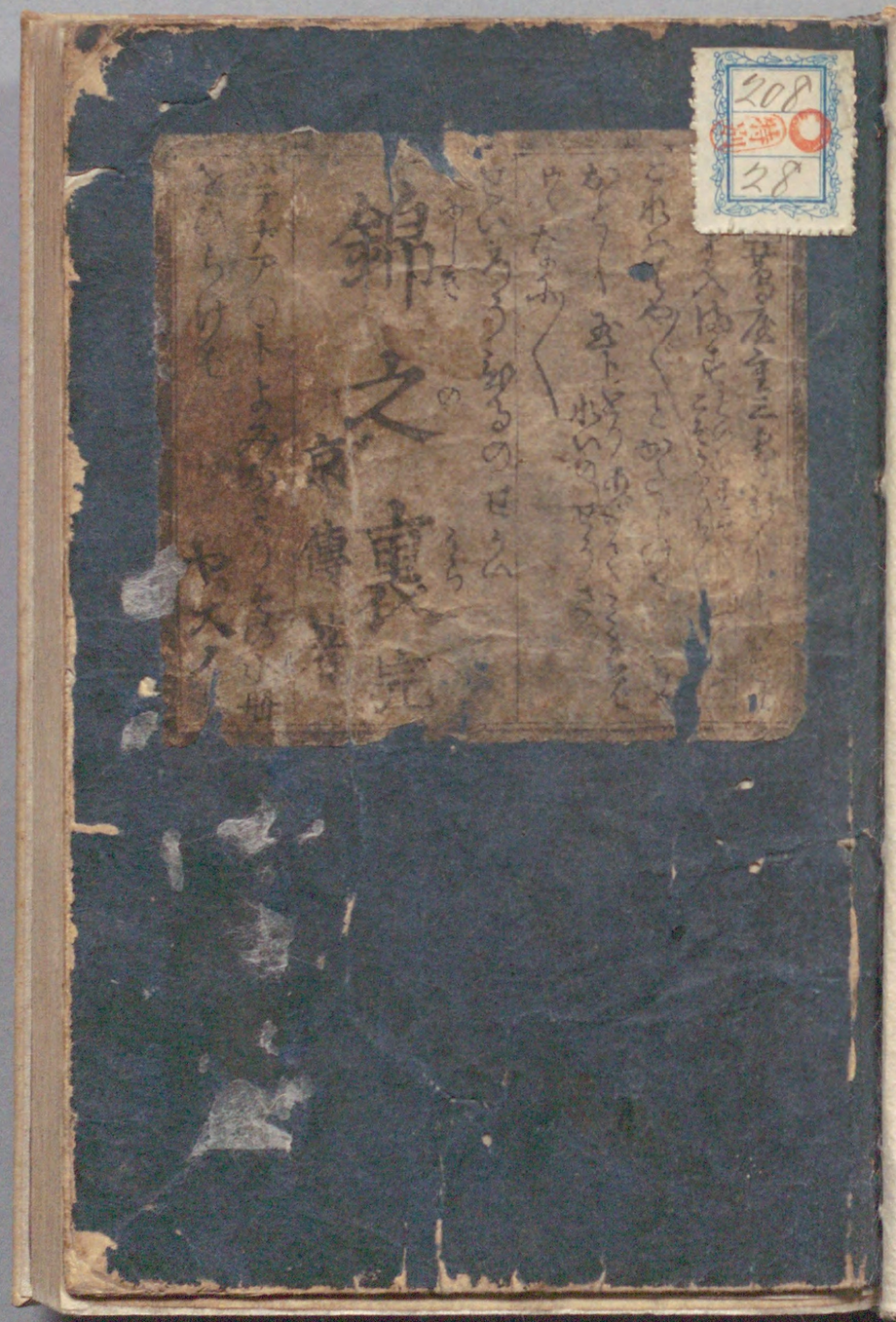
青楼昼の世界錦之裏

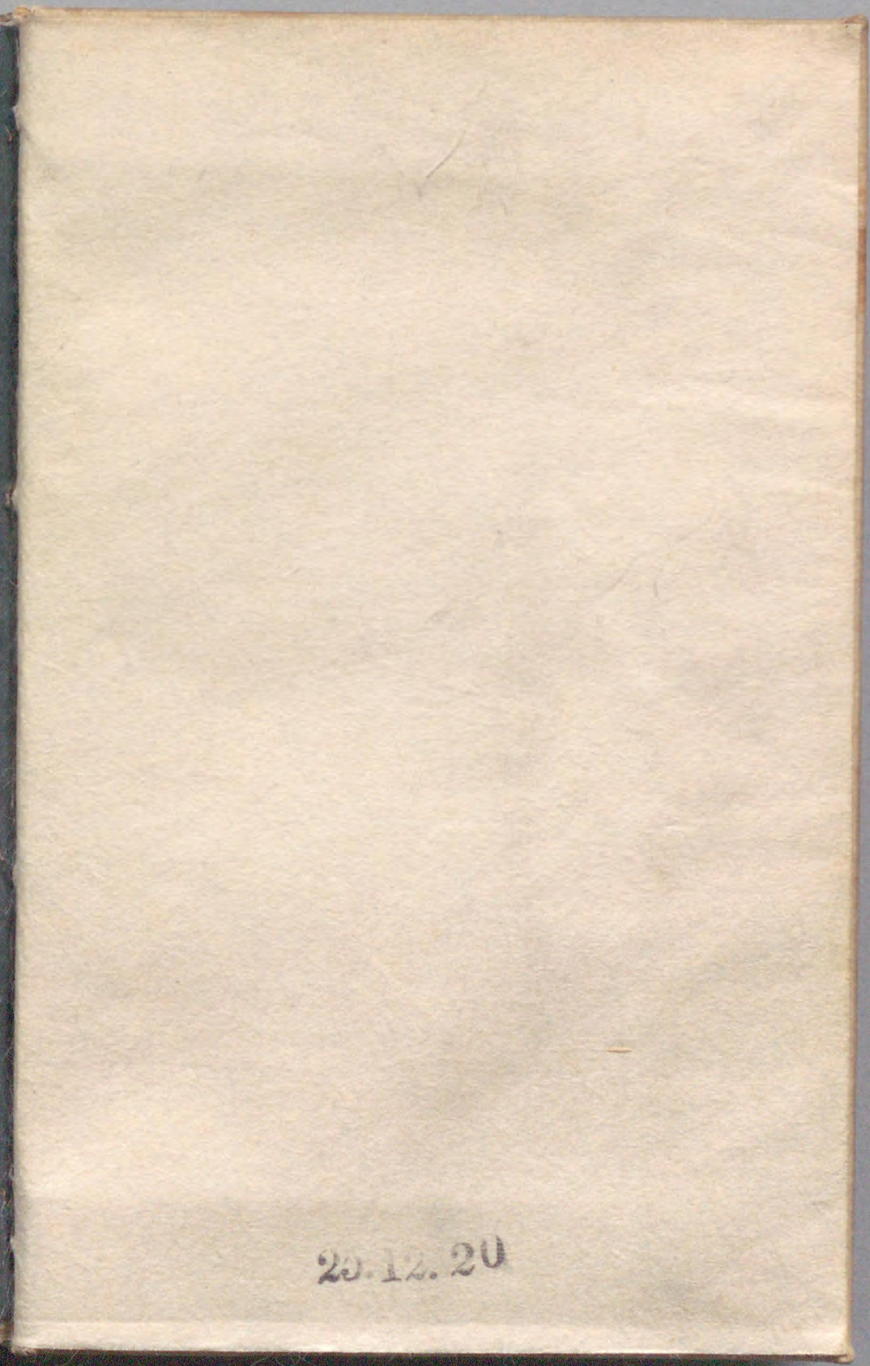
208
28

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用



208
28



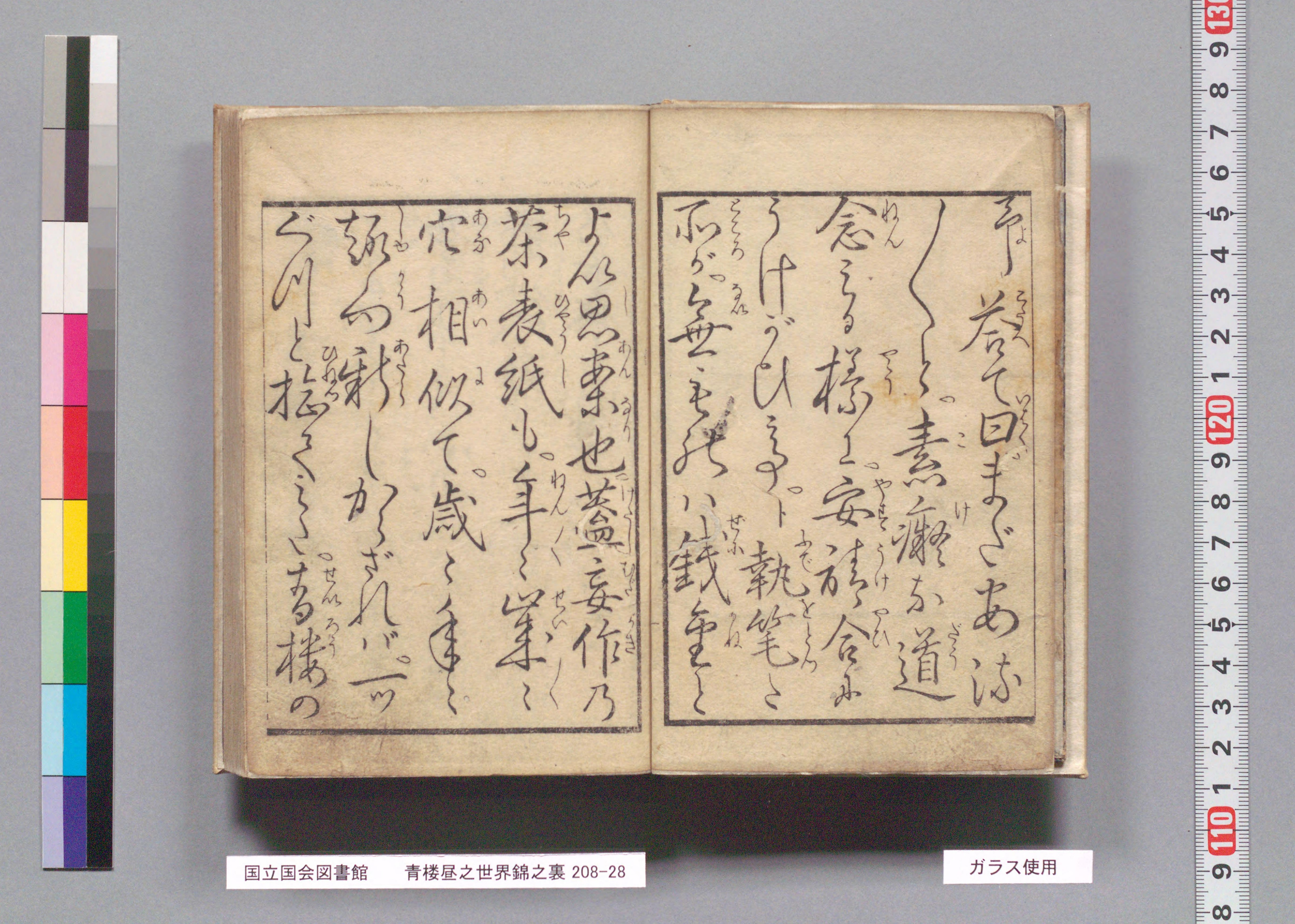
23.12.20

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用



国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

ひる

のを書ら我の景色の
いふ美とにうけて変る
案じ乃小冊此奴是一ツ
新織なしめと其価錦
乃裏と題して而已

後叙

夫熟大門視バ。實りし
兎貫が句乃如く。骸骨
孔うつ我糠ふとも。笠孔
郭の喜怒哀樂。迷ひ

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

眼中西旅を出し。
悟だ鼻中臭氣成
んとは。速しても悟深も。
有漏路より。無漏路
へ送る。茶屋一の提燈。

人間ハ何ナソレ五十
間道。一切乃衆生才
乃用心。さのしやい
ましやう。

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

岩寛政三年辛亥
春正月
京傳自跋

觀（えるの）三 琉球人（アとう）（きうじん）入江戸（いるを忍とふ）
日（ひ）
山東
菊京傳撰

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28
ガラス使用

倡門至日

亭午之圖

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

青樓晝之世界錦之裏

山東京傳戯作

五更鳥 ガアノ〳〵

晨鐘 ボヲウン〳〵

紙砧の音コトノ〳〵

商人の聲油あげノ〳〵

夫神靈矢口渡道行の文句曰なゆらふことなのう

夜の明ねはまもなくいなますでもさ云ゝ是ゝ

乃常情なくいひかるべし妙言なり浦島が

珠匣硝子乃桃皿すんあら稀ど明あてくやし

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

きさぬぐの手情あれは昔から詩所連誹
淨瑠璃小唄詩俗説法夜講釈門施餓
鬼ぞなけれど廉私へ案ことわれ老仁日蓮
紀でなければ操芝居も見たき事なき姿に
いたるほど唐の和も千万人口のまくなる程
以ひ清くして今清らいふも愚癡な程どれ
施家と娼家とは是ていふもの世ゆゑ中に
絶てしなくもまむものなり

爰昔後一条御宇摂州河邊郡神崎
之廓吉田屋喜左衛門云有妓家
其棲が二階の朝京色杯盤狼籍廊下
まへ愁盤小杯葉蓋のうへに茶碗を
の事さも居合われは嗜蓋のごとく俵に
輪切れ乳棋の皮の下に杉箸の杉二本
月に霞ハどぞごんまといふかたちまでて有
帋くまへ物日ゆゑ浴室れ三万のごとく

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28
ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

いつそ旬ふよ [illegible] 夕 起ぶんどん
ソレ足から血が出るよどふしさ ねむ 髪乃りの、
松の打でふしねんを いしし雨しさ 夕 ヨヤ あぬ
ね人 [illegible]
さがしてコレそこら孫さんあれがてさてちらちらを
ゆくきな そら アイ ゆく 夕 [illegible]
あけて [illegible] さぞ氣にまりでおざるんしやうト [illegible]
[illegible] 夕 おいらんおつかふでござり

ゆを 夕 [illegible] 見るもしいて天氣ぐ
おざんをね人 ゆり 何さくもりくありまれも
のきのふへモウ大ふくひを雨しさよ 夕 [illegible]
ホンニ堀の内さんそ [illegible]
ゆり アイ 納まねぐひへまぐ小魚させてくまり
まし さよ 夕 ツリヤアもおりてじけるよおざん
しさモシ寸男ごるんし夜泉さんの寝さ
なり候 ゆり ホンニ ね人 [illegible]

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28
ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

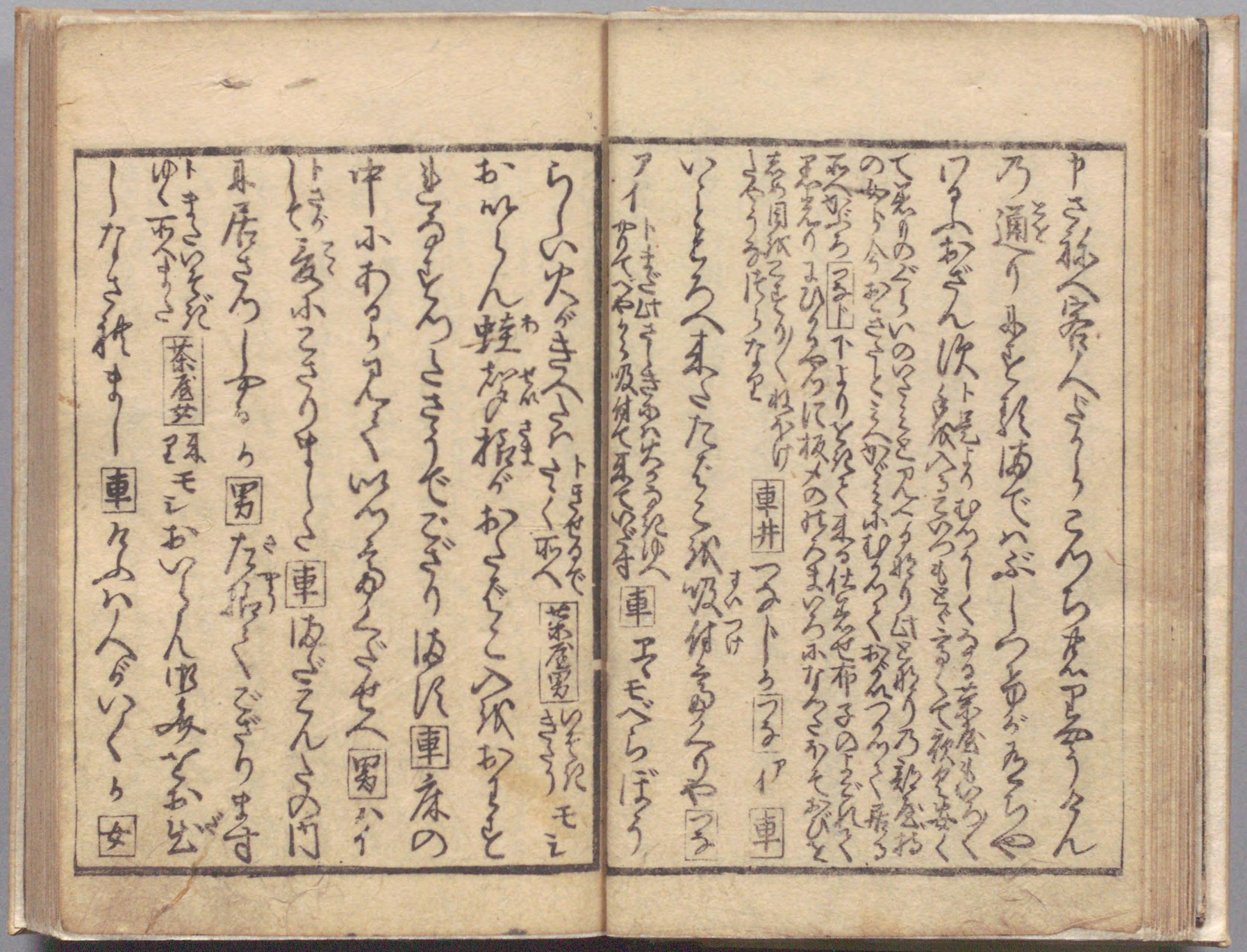
ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

ゆさ孫へ客人どうらこんちまんアとゆうなん
乃通り ゆとれ海でいぶしつゆがあらや
ひるふおざん次 ト見よりむかうしくゐる茶屋もいろく
色紙へうていつもとで言くて夜々安く
て来りのぐらいのいさことアんくゐれり乃新屋持
の如ら今おささとこんかどこにむかうくおんつかく居る
而へかぶろ 【つるド】 下よりとれて来る仕事せ布子のトゴれて
思ひたりまひるゆらに板メのれんまいろになんさかそおびを
表の国紙てまりくねかけ
しやうなたらなを 【車井】 つるドゥ 【つる】 アイ 【車】
いしもろへ来たたらこ紙吸付てゆへ
アイ トまだ此さしきゐれ火ゐるゐれゆへ
かりてへやゐる吸付て来ていぶす 【車】 アモベらぼう

らしい火がきへさいさく 【茶屋男】 いそれきさう モシ
おいらん蛙 ゆ 指がおさだこの紙おきと
まるまとんこさうでござり 【車】 床の
中にあるゐんく以ゐるゐんくざせへ 【男】 ハイ
しさ 【車】 ゆざこんこの門
来居さんしゆるゐ 【男】 ゆざ
ゆく而へまりさ 【茶屋女】 来モシおいらん此女をお出
しなさ 【車】 ゆふい人がいくゐ 【女】



国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

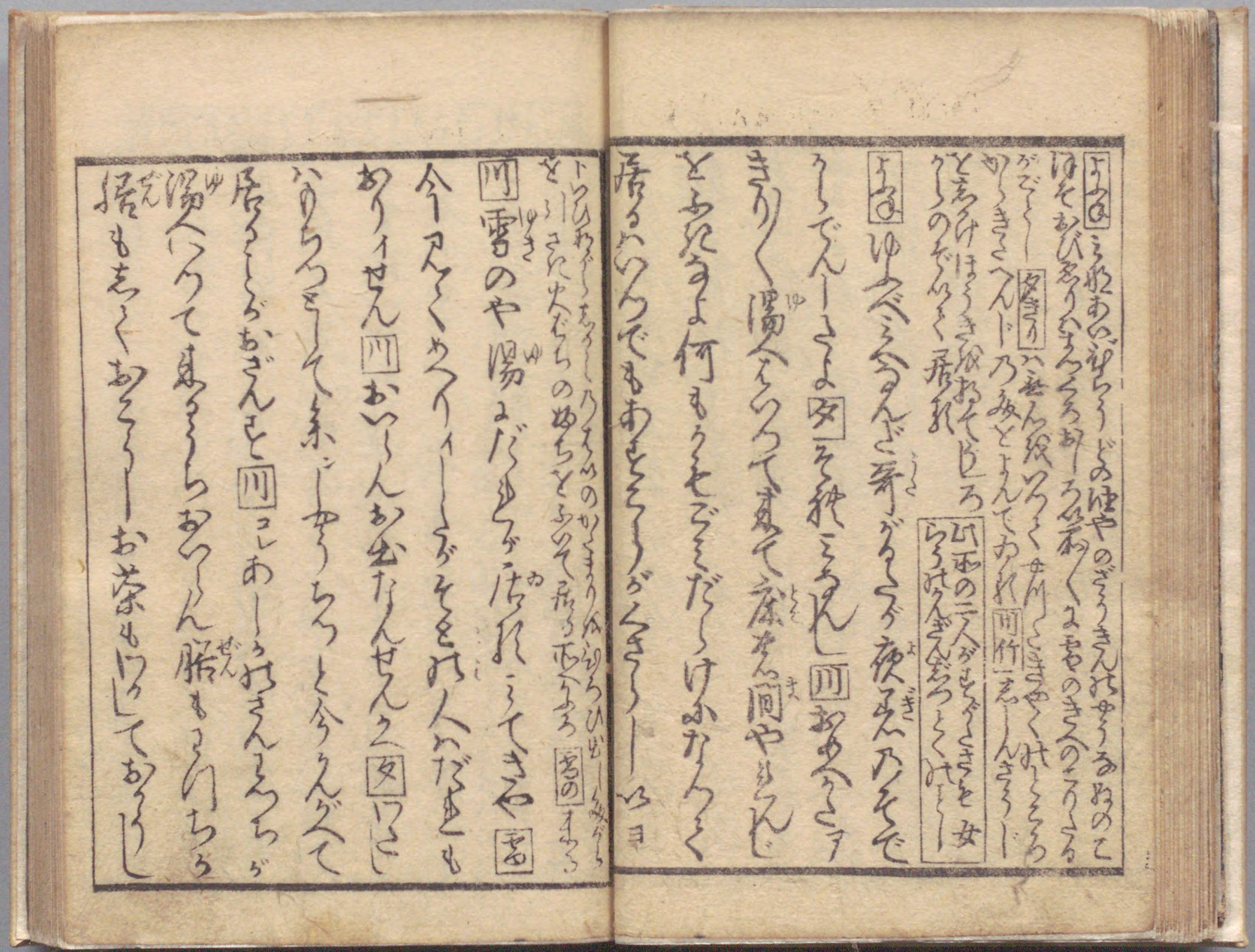
ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用



国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

そいとあげやきまんじう　[ごく]むくやつぷり
[四]ことむくめうおくさん[こと]そしてこんだい
売物のよをとりちらしておくさん[こと]へ
[ごく]かしこまりました[四]アモシモシ[ごく]
序でにうちのこともおはなしされをさんを
うちくろくおくさんへ[ごく]
[四]ろくろくおくさんへ[ごく]
[四]ろくろくおくさんへ[ごく]
[四]ろくろくおくさんへ[ごく]

おくさんがちよつとおいでなさいとの
ことご[四]東井さんさんお不のこのこと
[四]かしこまりましたゆくさきへ[四]
客人がつまらくきそうでできそいをとさんす
さうでできそいをとさんす
夜舟さん死でしまをとうさんの死
出しやんしやん[区]おしやうさんがおいでなさ
さんが二階へきそうやうきそうきそうきそう

なんしお針部屋もこてきれんしよりし
ほどこぞア下々の中郎の人成たのんで唯
ふやうてくんるんし 中郎とこゝハ内しやうの小げらひを
する下男の事之是も此里ふかぎり
かること だるり 図 ものやおんぐ殿とろく来てそもと
うら 楓屋の うちひとりつゆいつて 板成一本
と忍まつまさくことすれとまもりて人をみて
きやはなくよりる紙とたゞこもとろくきや
夜永さん 手揚枝をどしる トいひつけるあでやう
ドこハおたくろ筆の

筆 図 と 図 がきやうだんぐしだとうたん
ざうなきとうそろへれやるく 宿 ハおたくろをうつて
きそ火ぐちへのせてをく 図 てんぎうを 紙のうつのせ
まづ筆でうじを火ぐちの じやうは中まそうれまへし
かゞこれ むかひ成つける○むかふぎしきまへ庫のうれ上
ほうづきは下メでさぐつくの男であることまちへ人の
ぐちんうぐしとあ紙のまんかんぎして 見分 モこハ どうして やるん
大人の大成なさこと火ぐちへ入なるし
しやうれ人ちしぐらとろるくやしくつてたりさけ
イをおいらん 板契 やしつぶだらけかすぐるを箱ひきを也なれ
とぢこと女成一本ようなく居るのがし
そう種ざんくもおやへ手しやうもこ孫人半が
なんしいろ種るものゝ胸ぐおさめてねて

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

ものがなかるゝまゝせそくぶせへ浩丹坊の
三百夜ぬかつてもらひてへ 牛 大かさだれぞ
ゑりはしやうが 鍪 こゝろちや矜寿さんの
とけへ淋病の薬ぬこせへてやりてへがけふは
ほかにあれこせんこんぶやうのくすりぬ製ふする事ハいごと
予さるおいらんより此秘法ぬ傳れ
あまりたまけ なれだこゝに志るに
○山梔子。隈篠。燈心。梅干黒焼。阿膠。松
子。女陰毛 三スミ 黒ヤキ 以上十味等分ニ合煎シ用ユ

こまとじゞけが
たゞらひなり 琴 そのとやアそうとはふいつかぶのゆ
花 いつかでおざんせう びび こゝろちも志りイ志なイ
おゝらおりてこれいろくのあきんど
ぎりさまぐのよびこゑきこゝろ ▲さんださりくるん
きんあやはり ▲徒魔く ▲ひろ葉くくく
▲針がねく びび モシヘ あまちりが稼くかきれ
こゝろ十二日でおざんしやうヲヤてもさうが
きこよ花おさんでらうじれしちよりと
ゆらんだなこりそうざんを 花 これトこそ

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

ふたやもしもの方へゆきすぐるゆへそばにあるもとぐさかん紙をつ
ておりてのまんしへうつしてこゝくゆる所へ志さよりり
中郎 りまたのまゝはしたが此かんけ紙ちへと
おんれなすつて下さりは トくりんけ 此をこゝせる 翠 いくら
わしどやるのぞよ 中 一トまでしたりおんれなさ
まし 翠 ウ 今こゝさしておくり トこゝ来る 中居
げび川さんころち此屋敷に血が一ツ来て
おりやしかうこそかんなせん げび おさりいせん
中居 おめへかさいめへようそんな事紙いつなさる

けちうもこゝちに平ひらぶ此ふこがでざりやしさり
こしらがあづりざりしるくなるちやア
めへかくでござりやもとこゝ屋しんいひくゆく 中居 げび
しろうしろ紙へいとうぐらうれおふ らうへ来てざ 志れ持の如く
うへさ本 おそこしかりんとこゝへ白ねりのそちはれ おくぐろおとしてしろうしたまでれなさち 秃 ふこゝこすり うへ
コレ あのゝ何れんどやへいつくまでの香箱との
下モの本茶屋へいつて血とめと銀箱紙かつて
きやそしてかへりにお計ひやで紙をちつと

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28
ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

風(ふう)が人がらがよくなるさせ客(きゃく)人かまりさ
みゆうまくいきれ 夕 いろてはいりイしやうト
志んとはたしてちや屋ゆく 表 夕 がらしろ姿と足をとり 夕 霧(ぎり)も頃(てのころ)見ひれか
でへぶつれさゝゥ 女房 左(さ)やうサ だんくよくなる
まゝ 叔 蓋西のけしきはアやうアだんのしきこれさんちう
かまほうこ成さくを牛戸の車のまわるをとんぶり
のまれさ者茶成つく音かしまりしくかふろは大せん長さん
だんをとり出はくはるやしをくひ火入をのりくまる
ふりそぞ志んざうあまさだ茶のきりじを見えたこと
ぶろあり屋すは蓋のものゝ花成りちこゝかゝ人はさ
酒ざるゝ口成さうありいうざけの小河ひさ子成つ
はきさ湯をはきりの物ゆれかしし門流へおそびぎて

ゆう男 酒好 三河鳴(みかはし)の湯(ゆ)へお出なをとつたり 表 ひ
るゆ今年さ 酒 れてけへ 表 ゆゑ茶屋のて
女は成よんで一妓(いちき)点(でん)成いしゆさ突(つき)出しの
白鞘(しらさや)ものをとりこそこゝの句をしるがどう
ごらうね 酒 ウ 匂ばくりがおりしまへてゐり
アはさやしやうトたれしの更部うきでおやのりえ
あがけてをくこゝれ女郎の
おや 来る 表 ラ でさんさうどふぶのう ちりとも
いうの おや とうくどうへんでござり 酒 しまゆ

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

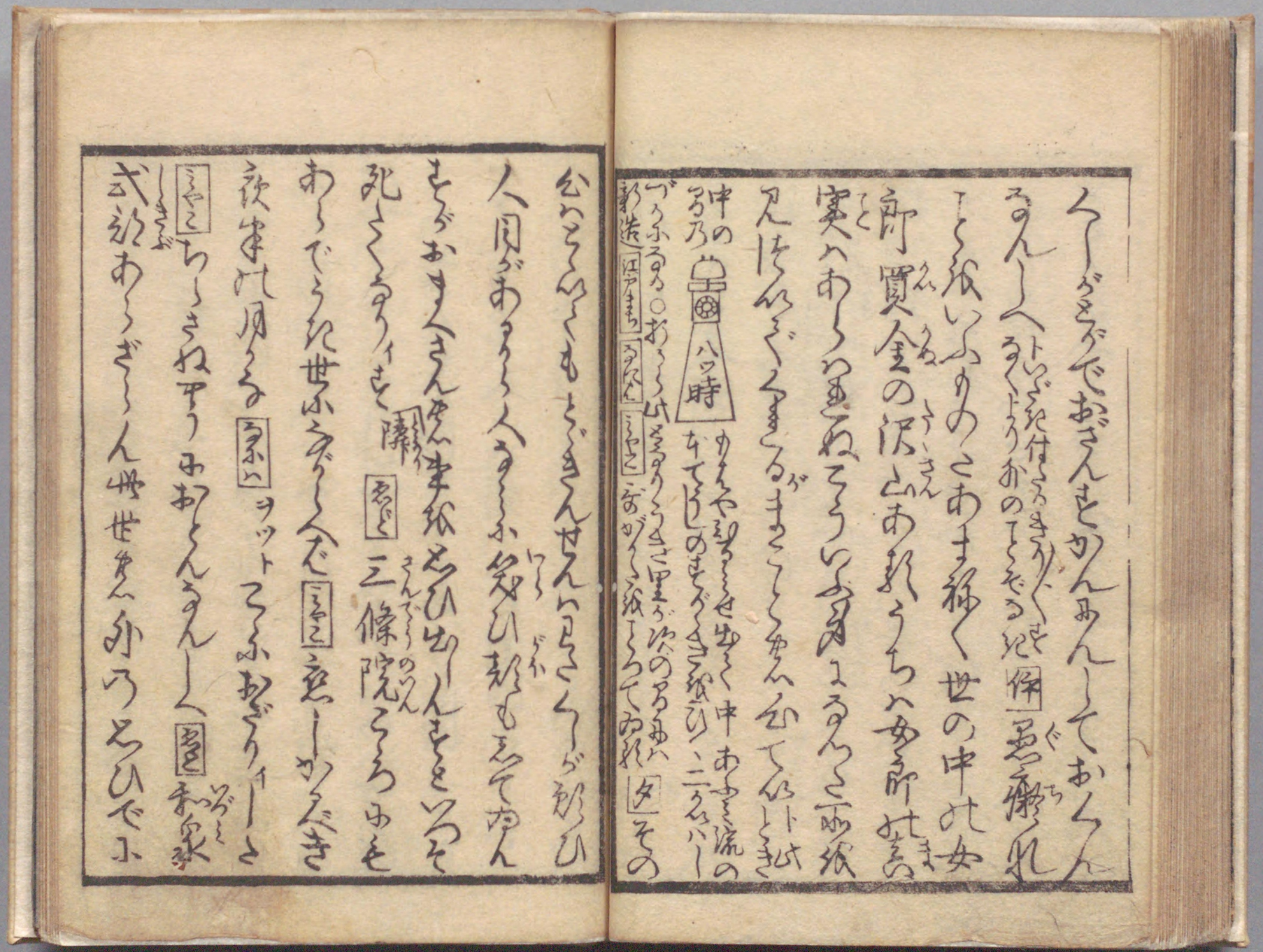
ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用



国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

[伊] 今一さび動(ん)事のまゝ心もすこし此二ヶ月
へてもたゞ続く来てあらはるゝ事まゝ
りのじや [夕] ホンニ まゝはんあはれんしに付ハ
きくはんさうにおりひさしくはてゝハ
此ゆうなるゝれ以来さへ大てゝのゑがひ
しやおざんせん [伊] さうさのう [あど] うしと
こし世ぞ今ハ意しき [こやこ] こしこ
らにおざりイーしよ [あど] そこにあはれ

ておくんなんし 藤原義孝君(きみ)がくらゐん
をしかくさまし命はへ [夕] おりひるをし
てこゝ面さうにお目にかゝりまイさとをこのし
こゝにながらへておりまんさと [伊] ハテ しんで花(はな)
実(ミ)が [夕] 咲(さい)ものもしんさしめへ [伊] 命あつての物(もの)
ざねサ [あるへ] なぐらせう那しさひ分れ
[あど] コレ 御んがちにしるんさるへ [夕] とはさひ
すがまゝざ在ぐ八年といふねんなれば [こやこ]

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

代男め紙引ぎつを出しとがよれまいのと
まめくを図つ事まれ着い袴もしくと
かけ来るはぎりこぶしの雨あら袴
むさんやか伴たちが何をまのよふふり
うれ夕霧なるぞもろとりに中をへぞそ
く方を押しまれ伴たちが身をうてひ
見やむぞらしんぞふぞれ先は皆れ尻まさ
志ゆん米伴たちさんにとがへ今はこの人

さんをぬらなしが海ろはしからされへ
ぶちころして志まとんせきくいまなれ
見こうしとそばにあり何ふ読巻のかと
そり頼ふ手紙かくれ申り手はあれ
てをしとぞめ見夕霧さん大事ま
代物おまへにけるさせそなるものとりだ
とるこちらに大勢より伴たちから紙
さはんで引出をかれおからおりひ

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

せくふしおがむ中の弓乃
路日將斜

七ツ時 前

是ハ皇綿の表とへんぜ夜の景
色乃それやうへ今まで多くあると
来りの小冊でゆらうじろ

附言

宋玉ハ好色の賦を作りて色情を
戒紫氏ハ五十四帖に艶らを述て
色欲を戒む是皆佛の譬諭方
便と異なることなし予屢妄乃著
述となし淫蕩を使ふるに似れ
ことを必ず戒を忘れず喜怒哀樂
の人情を述て勸善懲惡乃

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用

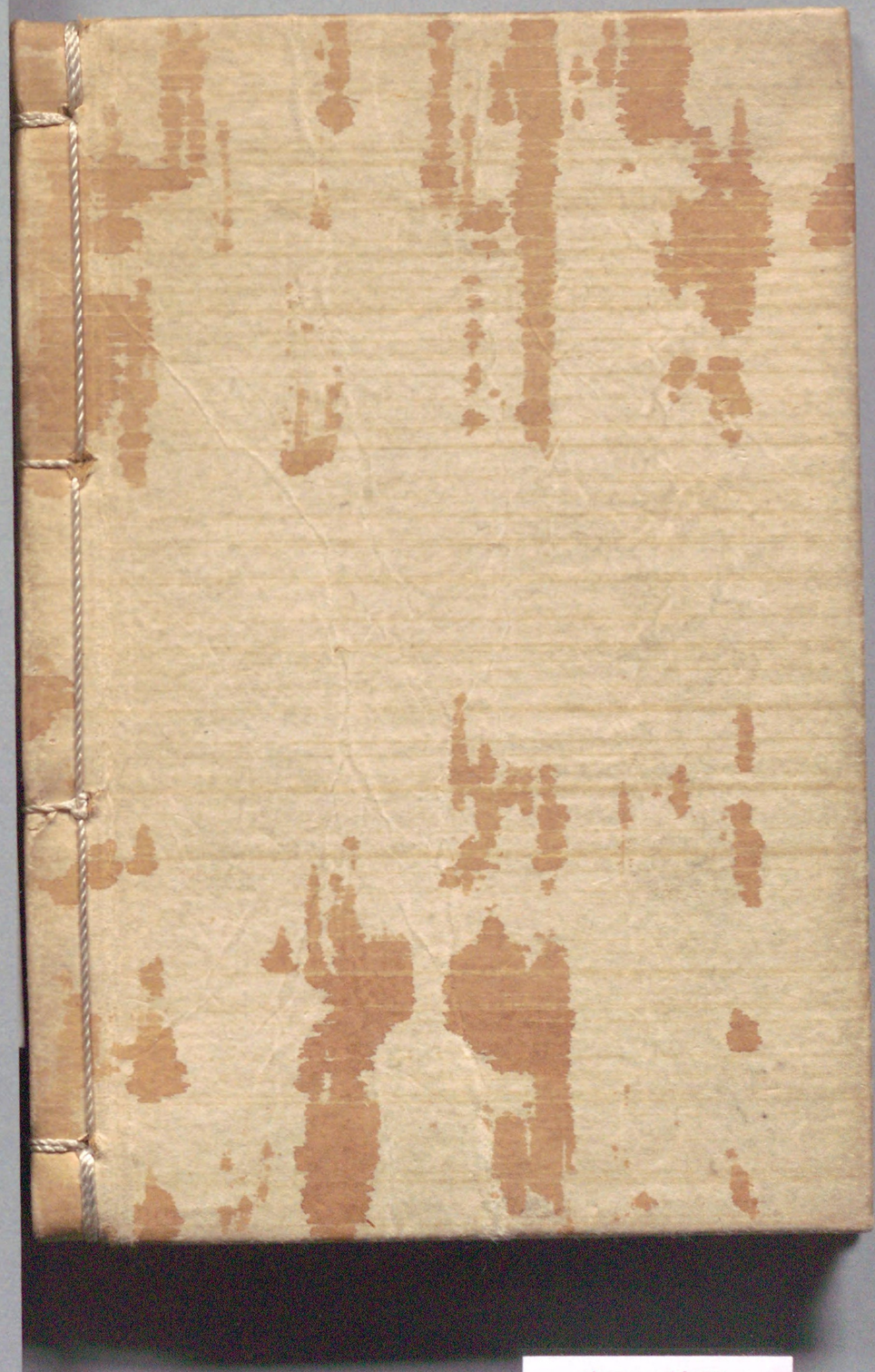
208
28

微意あり通く諭ぬとしバ幼童を贈
し戒るに餳を以て炙を以てまるぶ
ごとし則餳ハ饗諭す便なり此
炙ハ仁義五常なり然れハ此小冊
を教訓の二字を寄し冊とすれば
所以ならずしも[illegible]
視人宜察也

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28
ガラス使用

国立国会図書館　　青楼昼之世界錦之裏 208-28

ガラス使用



ガラス使用

国立国会図書館　青楼昼之世界錦之裏 208-28